

平成 23 年 4 月

全国青色申告会総連合青年部

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-9

TEL : 03-3294-2301 FAX : 03-3233-0154

<http://www.bluereturna.jp/seinenbu/>

# TEN-UP NEWS

## No. 70

## 『東日本大震災』の復旧・復興への貢献

災害義援金のお願い

---



地震と津波により冠水した大通り(石巻：全青色撮影)

3月11日、東北地方太平洋沖を震源とした地震が発生した。宮城県で震度7、福島県・茨城県・栃木県で震度6強、岩手県・群馬県・埼玉県・千葉県で震度6弱を観測し、広範囲にわたって強い揺れを感じた。

40m近い大津波が押し寄せ、多くの命と建物が失われた。土砂崩れや地盤の変化による道路・鉄道の分断、広範囲に及

んだ液状化現象など、わが国が未だかつて経験したことのない事態となった。

災害救助法の適用を受けている被災地には、417会(税連40会、347地区会)の青色申告会と8万人を超える会員の皆様が活動されていた。

被災地の会員や事務局の方が一日でも早く震災前の生活を取り戻せるように全青色青年部も協力をしていく。

全青色では、一日でも早い復旧を支援するため、全国の会員の皆様に義援金をお願いすることを決定した。専用口座を開設し、7月末まで受け付けている。また、全青色青年部では、災害発生時に被災地へ義援金を届けるため、災害義援金口座を常時開設している。義援金を募る方法や口座への送金時期・金額等は各県連青年部の状況に応じてご対応いただいている。



整備された国道脇に積もる瓦礫(陸前高田)  
一人でも多くの青年部員の方にお声をかけていただき、被災地の復旧・復興に貢献していただきたい。

### 【災害義援金口座】

(銀行名) ゆうちょ銀行 (口座種別) 総合口座  
(口座番号) 10120-92162871 (口座名) 全国青色申告会総連合 青年部

## BRA を利用したイータックス送信状況

前年比 22.9%増の 23,578 人が送信

平成 22 年分の確定申告に関して、「ブルーリターン A」からのイータックス送信人数および送信件数を集計した。集計期間は、「ブルーリターン A」イータックス運用開始日の 1 月 17 日から消費税の申告期限の 3 月 31 日までとしている。

送信人数は、前年比 22.9%増の 23,578 人となり、送信件数については、前年比 23.3%増の 56,279 件となった。

今回の震災では、多くの会員が帳簿や

申告に関するデータを失った。これらのデータは、再び事業を始める上で、必要になってくるものである。今回の震災を通して、もう一度イータックスの利便性ととも重要性を考えていただき、ぜひとも来年の確定申告にはイータックスに挑戦していただきたい。

青年部員の方々には、率先してイータックスに取り組んでいただき、IT 化に貢献していただきたい。

## ＜イータックス送信実績表(県連別)＞

平成 23 年 3 月 31 日現在

ブロック	県名	ブルーリターンA普及本数				21年分	22年分				
		13~21年	22年	23年	普及累計	送信人数	送信人数	所得税計	決算書計	消費税計	送信件数計
東 京	東 京	5,284	391	101	5,776	705	822	826	927	216	1,969
	神 奈 川	8,681	802	150	9,633	2,654	3,849	3,859	4,166	959	8,984
	千 葉	5,754	480	152	6,386	1,605	2,121	2,127	2,374	624	5,125
	山 梨	66	2	0	68	0	1	1	1	1	3
関 東 信 越	埼 玉	2,928	214	73	3,215	372	553	555	630	152	1,337
	茨 城	1,960	149	20	2,129	272	269	269	311	141	721
	栃 木	521	51	1	573	60	55	56	60	16	132
	群 馬	663	28	9	700	24	34	34	36	18	88
	長 野	1,305	77	40	1,422	79	87	87	114	28	229
	新 潟	1,587	131	29	1,747	256	241	243	278	105	626
北 海 道	北 海 道	2,549	157	71	2,777	318	415	414	425	134	973
東 北	宮 城	759	65	24	848	129	151	152	175	56	383
	岩 手	248	11	5	264	13	15	15	19	8	42
	福 島	1,461	82	31	1,574	58	68	68	60	21	149
	秋 田	297	15	3	315	7	14	15	16	6	37
	青 森	515	45	15	575	41	89	89	102	37	228
	山 形	958	48	24	1,030	407	418	417	455	153	1,025
東 海	愛 知	2,979	294	124	3,397	629	801	802	892	248	1,942
	静 岡	2,986	328	78	3,392	2,039	2,520	2,525	2,287	833	5,645
	三 重	2,365	179	95	2,639	1,526	1,670	1,668	1,734	530	3,932
	岐 阜	1,933	150	53	2,136	273	382	381	443	130	954
北 陸	石 川	768	49	33	850	147	173	174	188	72	434
	福 井	809	52	18	879	216	371	375	421	152	948
	富 山	918	76	18	1,012	316	334	333	351	136	820
中 国	広 島	1,678	94	34	1,806	231	275	278	365	86	729
	山 口	1,102	86	34	1,222	246	308	310	339	82	731
	岡 山	1,581	108	32	1,721	356	387	388	418	102	908
	鳥 取	359	22	23	404	21	32	32	41	11	84
	島 根	898	55	15	968	256	225	225	272	101	598
四 国	香 川	553	37	12	602	24	22	22	25	8	55
	愛 媛	2,374	207	48	2,629	1,372	1,585	1,590	1,741	586	3,917
	徳 島	425	29	14	468	26	41	42	47	17	106
北 部 九 州	高 知	601	37	25	663	13	14	15	16	10	41
	福 岡	581	67	28	676	708	785	784	795	204	1,783
	佐 賀	289	23	8	320	298	338	339	394	106	839
南 九 州	長 崎	488	47	14	549	36	31	31	40	15	86
	熊 本	2,021	207	52	2,280	1,684	1,891	1,892	2,098	479	4,469
	大 分	750	83	22	855	165	189	188	228	62	478
	鹿 児 島	694	51	37	782	382	413	413	388	70	871
	宮 崎	772	105	30	907	320	385	385	405	128	918
	沖 縄	1,666	172	31	1,869	904	1,200	1,178	1,350	408	2,936
小 計		65,126	5,306	1,626	72,058	19,188	23,574	23,597	25,427	7,251	56,275
そ の 他 ( 大 阪 )		1,471			1,471	3	4	4	0	0	4
合 計		66,597	5,306	1,626	73,529	19,191	23,578	23,601	25,427	7,251	56,279

# 決算・申告期の青年部

## 各地の青年部の活動内容

大震災によって社会が混乱をしている中、今年度の確定申告は期限を迎えた。被災地である青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県およびその他の一部の地域では、国税通則法第 11 条に基づき、

国税に関する申告・納付等の期限の延長が行われた。

確定申告期における各地の青年部では、以下の活動が行われた。

### ＜確定申告期の活動内容＞

- ・ 申告指導会場での受付業務のサポート
- ・ パソコン操作の手伝いなど、ブルーリターン A および国税庁ソフトによるイータックス送信の補助
- ・ ポケットティッシュの配布など青色申告会を知ってもらうための広報
- ・ 活動時間を区切って、広報車による広報活動
- ・ 税務署内に青色コーナーを設置し、青色申告の申請や青色申告会への入会勧奨。また、青年部活動の説明を行い、同時に青年部への勧誘。
- ・ 青色コーナーでの受付・相談業務

決算・確定申告期の各地の青年部は、サポートという位置づけで活動している会が多い。また、女性部と役割を分担して活動をしている会も多く見られた。

この他、各事務局に『確定申告期における指導相談に関するアンケート』を行った。その中で、イータックス指導相談や青色コーナー担当などの人員が不足しているという意見があった。特にイータックスに関しては、代理送信によるデメリットが多い(経費負担の増加、申告

関係書類の未送付、事前準備の手間、送信結果や添付書類等の税務署への提出の事後処理など)との意見もあった。

これらの人員不足やデメリットを解消していくためには、会員企業本人による IT を利用した記帳・申告が必要となってくる。

青年部は、親会・女性部に先駆けて IT を利用した本人による記帳・申告の普及に繋がる活動をしていくことが重要である。

# Opinion & Announcement

## 30周年記念事業の延期

全青色青年部は、次代の青色申告会を担う存在であるとともに、当代の青色申告会を支える存在でもある。青年部の活性化なくして、青色申告会の発展は難しい。

現在わが国は、あらゆる面で厳しい状況にある。経済成長の停滞、長引く円高、総人口の減少、急激な高齢化など、明るい話題が見つからない。そのような中、東日本大震災の発生によって、日本は更なる苦境へと追い込まれた。

今回の震災からの完全な復旧には、まだまだ時間がかかる。しかし、震災から2ヵ月程経った今、復興に向けた兆しが見えはじめている。全国の青年部員の方々には、被災地域の復旧・復興に貢献できるような活動を期待したい。青色申告運動と自己研鑽の理想を掲げて、今後も青年部は活動を続けていく。



全青色青年部は、本年6月16日に30周年記念事業を開催予定であった。しかしながら、先の大震災の影響を受けて、秋(11月)以降に延期とすることが理事会(委員会合同)で決定された。開催時期の見直しにより、会場や動員人数の再検討も必要となる。各会の青年部には、予算や動員人数について改めて検討をし

ていただきたい。準備をすすめてきた青年部にとって、今回の延期の決定は、多大なる負担をかけることになる。

だが10年に一度の周年事業は、青年部の成長に欠かすことのできない大切な行事である。多数のお集まりをいただけるようお願いする。



『TEN-UP NEWS』は、今号でNo.70を迎えた。創刊号の発行は1988年(昭和63年)5月で、現在24年目に突入している。これまで、青年部や本会の活動、税制改正の関する動きなど様々な内容を掲載してきた。また、各地の青年部の現況や活動の報告、時事専門用語なども取り扱ってきた。各地の青年部員の方々の忌憚ない意見をいただきながら、今後も青年部活動について報告を行っていく。